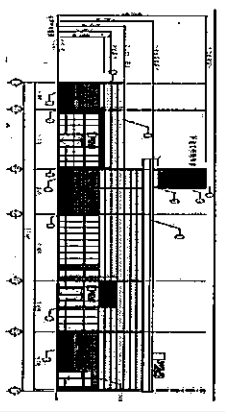


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-Building, CASBEE-Office, CASBEE-Store | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(2-1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ベルの羽生岩瀬店 新築工事	階数	地上1階
建設地	埼玉県羽生市羽生都市計画事業岩瀬近隣商業地域、準防火地域	構造	S造
用途地域	5地域	平均居住人員	200人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,475 時間/年(法定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年11月20日
敷地面積	6,901 m ²	作成者	中村賢至
建築面積	3,200 m ²	確認日	2019年11月20日
延床面積	2,965 m ²	確認者	古荘育代



2-1 建築物の環境効率(BEE)ラシチャート 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★★ B:★★★★★ C:★★★★★

30%★★★★★ 60%★★★★★ 80%★★★★★ 100%★★★★★ 100+超★★★★★

標準計算 ①参照値 ②建築物の数値外 ③上記②以外の ④上記*

0 46 92 138 184 230 276 322 (kgCO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般の建築物(参照値)と比較したライフサイクルCO2排出量の目安を示したものです。

環境負荷 L

Q1 室内環境 Q2 サービエ性能 Q3 室外環境 (敷地内)

Q1のスコア = 3.3 Q2のスコア = 3.4 Q3のスコア = 1.8

Q0のスコア = 2.9

Q1 室内環境: 音環境 (0.5), 照度 (0.5), 湿度 (0.5), 臭気 (0.5), 騒音 (0.5)

Q2 サービエ性能: ①参照値 (100%), ②建築物の数値外 (88%), ③上記②以外の (88%), ④上記* (88%)

Q3 室外環境 (敷地内): 敷地内環境 (4), LRI エネルギー (3), LRI エネルギー (2), LRI エネルギー (1), LRI エネルギー (1), LRI エネルギー (1)

LR1 エネルギー LR2 資源・エネルギー LR3 敷地外環境

LR1のスコア = 2.2 LR2のスコア = 2.8 LR3のスコア = 2.9

LRのスコア = 2.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

1	音環境	0.5
2	照度	0.5
3	湿度	0.5
4	臭気	0.5
5	騒音	0.5

Q2 サービエ性能 Q2のスコア = 3.4

1	熱性能	3.7
2	耐用性	3.0
3	対応性	3.6
4		
5		

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.8

1	生物環境	1.0
2	まちなみ	2.0
3	地域性	2.5
4		
5		

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.2

LR1 エネルギー

1	建物外皮の	自然エネルギー	数値不明	効果的
2				
3				
4				
5				

LR2 資源・エネルギー LR2のスコア = 2.8

1	水資源	2.2
2	非再生材料の	3.0
3	汚染物質	3.0
4		
5		

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

1	地球温暖化	2.5
2	地域環境	2.5
3	周辺環境	3.0
4		
5		

3 設計上の配慮事項

Q1 室内環境

Q2 サービエ性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・エネルギー

LR3 敷地外環境

その他

Q1 室内環境: ライトボックスに配慮して建材は全面的にF☆☆☆☆を採用した。

Q2 サービエ性能: 店内の天井高さは3.9mとし、開放感のある空間とした。

Q3 室外環境 (敷地内): 特になし。

LR1 エネルギー: 省エネルギー法の基準を満たしている。

LR2 資源・エネルギー: 有害物質を含む建材の使用はない。

LR3 敷地外環境: 騒音値は大規模小売店舗立地法による基準値以下に抑えられている。

■CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)バリエーション岩瀬店 新築工事

欄に築地またはコートを記入
■詳細グラフ:

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、
CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		評価点		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						
		3.0	0.40	3.0	0.35	2.9
1 音環境						
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.15	-	-	3.0
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	3.0
1		3.0	0.40	-	-	3.0
2		3.0	1.00	-	-	3.0
3		3.0	-	-	-	3.0
4		3.0	-	-	-	3.0
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	3.0
2 温熱環境						
2.1 室温制御		3.0	0.35	-	-	3.0
1		3.0	0.50	-	-	3.0
2		3.0	0.50	-	-	3.0
3		3.0	0.17	-	-	3.0
3 ソーン別制御性		3.0	0.33	-	-	3.0
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	3.0
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	3.0
3 光・照環境						
3.1 屋光利用		3.0	0.25	-	-	3.0
1		3.0	0.50	-	-	3.0
2		3.0	-	-	-	3.0
3		3.0	1.00	-	-	3.0
3.2 グレゾ対策		3.0	-	-	-	3.0
1		3.0	-	-	-	3.0
3.3 照度		3.0	-	-	-	3.0
3.4 照明制御		3.0	0.50	-	-	3.0
4 空気環境						
4.1 発生源対策		4.3	0.25	-	-	4.3
1		5.0	0.50	-	-	5.0
化学汚染物質		5.0	1.00	-	-	5.0
4.2 換気		3.5	0.30	-	-	3.5
1		3.0	0.50	-	-	3.0
自然換気性能		4.0	0.50	-	-	4.0
2		4.0	0.20	-	-	4.0
3		3.0	0.50	-	-	3.0
4.3 運用管理		5.0	0.50	-	-	5.0
1		5.0	0.50	-	-	5.0
CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	3.0
2		5.0	0.50	-	-	5.0
喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	3.0
Q2 サステナビリティ						
		3.0	0.30	3.0	0.30	3.4
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ		3.7	0.40	-	-	3.7
1		3.0	0.40	-	-	3.0
広さ・収納性		3.0	-	-	-	3.0
2		3.0	1.00	-	-	3.0
高度情報通信設備対応		4.0	0.30	-	-	4.0
3		5.0	0.50	-	-	5.0
心理性・快適性		3.0	0.50	-	-	3.0
1		4.5	0.30	-	-	4.5
広さ感・景観		5.0	0.50	-	-	5.0
2		4.0	0.20	-	-	4.0
リノベーション		3.0	0.50	-	-	3.0
3		3.0	0.50	-	-	3.0
1.3 維持管理		4.0	0.50	-	-	4.0
1		5.0	0.50	-	-	5.0
維持管理に配慮した設計		3.0	0.30	-	-	3.0
2		3.0	0.50	-	-	3.0
維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	3.0
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	3.0
1		3.0	0.80	-	-	3.0
耐震性(建築物のこわれにくさ)		3.0	0.20	-	-	3.0
2		3.2	0.30	-	-	3.2
免震・制震・制振性能		3.0	0.30	-	-	3.0
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20	-	-	3.0
1		3.0	0.20	-	-	3.0
躯体材料の耐用年数		5.0	0.10	-	-	5.0
2		3.0	0.10	-	-	3.0
外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	3.0
3		3.0	0.20	-	-	3.0
主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	3.0
4		3.0	0.20	-	-	3.0
空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	3.0
5		3.0	0.20	-	-	3.0
空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	3.0
6		3.0	0.20	-	-	3.0
主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	3.0
2.4 信頼性						
1		3.0	0.20	-	-	3.0
空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	3.0
2		3.0	0.20	-	-	3.0
給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	3.0
3		3.0	0.20	-	-	3.0
電気設備		3.0	0.20	-	-	3.0
4		3.0	0.20	-	-	3.0
機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	3.0
5		3.0	0.20	-	-	3.0
通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	3.0

売場・セラミックタイル、壁・タイル(PB125)、天井・不燃シート(=9.5)

売場内天井高さを3.9mとしている

鳥の糞害防止の為、搬入上部屋根には防鳥ネットを取り付ける
従業員及び清掃員用の控室を確保している

建材はほぼ全面的に☆☆☆☆を採用

排気口と給気口を10m以上離隔している

喫煙室の設置

3 対応性・更新性							3.6
3.1 空間のゆとり		空間を使用する際の自由度が高い 広い店内は快適さが得られている					3.6
1 階高のゆとり			5.0	0.30			5.0
2 空間の形状・自由さ			5.0	0.40			5.0
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			3.0
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			3.0
1 空調配管の更新性			3.0	0.20			3.0
2 給排水管の更新性			3.0	0.20			3.0
3 電気配線の更新性			3.0	0.10			3.0
4 通信配線の更新性			3.0	0.10			3.0
5 設備機器の更新性			3.0	0.20			3.0
6 パワーステアーズの確保			3.0	0.20			3.0
G3 室内環境(熱環境)				0.30			1.8
1 生物環境の安全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アミノ酸への配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			3.0
3.2 敷地内温暖環境の向上			2.0	0.50			2.0
LR 建築物の環境負荷低減性							2.6
LR エネルギー				0.40			2.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.20			1.0
2 自然エネルギー利用		太陽光パネルの設置 [Bt]/[Ein]= 0.87	3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化			2.6	0.50			2.6
4 効率的運用			2.0	0.20			2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00			-
4.1 モニタリング			3.0	0.50			3.0
4.2 運用管理体制			1.0	0.50			1.0
集合住宅の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源・エネルギー				0.30			2.8
1 水資源保護				0.20			3.4
1.1 節水		節水型便器を採用	4.0	0.40			4.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			3.0
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			3.0
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60			2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11			2.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22			3.0
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22			1.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体・経路・仕上材の採用	4.0	0.22			4.0
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含む材料の使用			3.0	0.30			3.0
3.2 フロント・ハロンの回避			3.0	0.70			3.0
1 消火剤			3.0	0.50			3.0
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			3.0
3 冷媒			3.0	0.50			3.0
LR3 敷外環境				0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮		有害物質を含む建材の使用はなし	3.4	0.33			3.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			3.0
2.2 温暖環境悪化の改善			2.0	0.50			2.0
2.3 地域・プラザへの負荷抑制			3.2	0.25			3.2
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			3.0
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			3.0
3 交通負荷抑制			5.0	0.25			5.0
4 廃棄物処理負荷抑制		特別車向スペースと駐輪スペースの分離	2.0	0.25			2.0
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			3.0
1 騒音			3.0	1.00			3.0
2 振動			-	-			-
3 悪臭			-	-			-
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			3.0
1 風害の抑制			3.0	0.70			3.0
2 砂塵の抑制			-	-			-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30			3.0
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			3.0
1 屋外照明及び屋内照明の光害に配慮するための対策			3.0	0.70			3.0
2 定光の照射角による圧縮光(ビーム)への対策			3.0	0.30			3.0

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェア











CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)ベルク羽生岩瀬店 新築工事	BEE	0.8	BEEラック	★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
3.4	+	1.6	=	5.0
				

重点項目の各スコアへの合計点				
かんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常に良い 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.4

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
・太陽光設備の導入			

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 1.6

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

- ・省エネルギー対策
- ・緑地の緑が連続するような外構植栽計画

入力欄